

# 但馬地域ビジョンとは

但馬地域の住民一人ひとりが但馬の「夢」を描き、その実現に向けて何ができ、何をしていくべきか、知恵を集結して形にすることを趣旨として策定されたものです。

## 将来像・行動目標と目指すべき方向

### 自立の郷

地域の力を結集した  
「活力みなぎるたじま」

### 賑わいの郷

交流人と共に創る  
「ゆしみあふれるたじま」

### 将来像

### 癒しの郷

自然や文化、風土を活かした  
「潤いと安らぎに満ちたたじま」

### 慈しみの郷

共に励まし、助け合って  
「生きる喜びを分かち合うたじま」

### 行動目標

人づくり、産業づくり、  
誇りづくり、安心づくり

### 目指すべき方向

「あしたのふるさと」とは、そこに住む人々だけでなく、訪れる人々とも、共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち合える「交流・共生」の地域の姿です。

### 県民意識調査

- ★住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合 … 88.6% (県内1位)
- ★日頃から節電に取り組んでいる人の割合 …………… 82.4% (県内1位)
- ★仕事と自分の生活の両立ができていない人の割合 …………… 71.9% (県内1位)
- ★住んでいる地域で、災害に備えた話し合いや訓練に参加している人の割合 …………… 65.3% (県内1位)
- ★住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合 … 53.4% (県内1位)

※県内の順位については、県内を10地域(神戸・阪神南・阪神北・東播磨・北播磨・中播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路)に分け、順位をつけたものです。

但馬夢テーブル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

発行/但馬夢テーブル委員会

事務局:但馬県民局 地域政策室 協働推進課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 ●TEL 0796-26-3647 ●FAX 0796-23-1476



『但馬夢テーブル委員会』  
<https://www.facebook.com/yumetable/>



30但馬©2-006A4

# たじま 夢つうしん



但馬に住む人々、  
また、訪れる人々も共に安らぎ、  
感動、生きる喜びを分かち合える  
地域を目指します!

## コミュニティが 羽を 伸ばす郷

## あしたのふるさと

君も待っています!

### Contents

- 但馬夢テーブル委員会とは
- グループ活動の紹介
- あいさつ、メッセージ
- 但馬地域ビジョンとは



# 但馬夢テーブル委員会とは

「こんな但馬にしたい!」

といった、但馬の将来像を描いた地域ビジョン(夢)の実現を目指し、行政主導型ではなく、私たち住民が自主的な活動を企画・実践する委員会です。

現在、第9期では55名の委員が活動しています。

「魅力あふれる但馬」、「輝き続ける但馬」を目指し、新たな人や地域とのつながりをつくって、あなたも一緒に活動してみませんか!!

募集人員 **50名程度** (予定)

任期 **2年間**  
※再任は原則1回 (特に必要な場合は2回まで)

報酬 **活動はボランティアで無報酬**

応募資格 **・満18歳以上の方  
・地域づくりに係る実践活動を行っている方、  
又はその意欲のある方など**

選考 **審査会で審査選考のうえ通知**

## 第10期募集スケジュール

2019年12月  
募集開始!!

2020年2月末  
募集〆切!!

2020年3月  
審査会!!

2020年3月末  
通知!!

2020年4月  
第10期  
スタート!!

## イベント 但馬まるごと感動市



ステージでは前期までの活動グループ「タジママリあげ隊」による「～夢をお菓子(かたち)に!～HYOGO★スイーツ高校生バトル」が開催され、各チーム優勝めざして熱い戦いが展開されました。

## 委員会活動

ブースでは「但馬いかそう会」の水車展示、「但馬夢感光～あるある観光発掘・発信隊～」の但馬のゆるキャラ缶バッジづくり、「たじまちゃんねる」の但馬の写真展示など、多くの人に楽しんでいただきながら但馬夢テーブル委員会活動をPRしました。



## 但馬地域夢会議

平成29年度但馬地域夢会議では、「たじまユメトーク～つなげよう但馬(ぼくら)の想い～」をテーマに、但馬地域ビジョンが目指す将来像の実現に向けて、夢テーブル委員や小・中・高校生、地域住民の方々と夢を語り、但馬の将来について意見交換しました。

平成30年度は「たじまユメトーク～2030年わたしの描く“幸せ”は～」をテーマに、但馬地域の幅広い世代の描く“幸せ”を通じて、但馬地域ビジョンが目指す将来像の実現方策などを検討するため、県の将来像を描いた「兵庫2030年の展望」を踏まえ、但馬の将来像について意見交換します。

## 全体会

第9期但馬夢テーブル委員会の活動がスタートし、3回の全体会を行いました。グループでの活動内容や、メンバーの役割、今後の方向性、スケジュールなどを話し合い、各グループが本格的に動き始めました。



# 但馬夢感光～あるある観光・発掘発信隊

但馬は、兵庫県北部に位置し、面積は県土の1/4を占め、ほぼ東京都に匹敵します。

「山陰海岸ジオパーク」に代表される豊かな自然、2万5千年前から始まる歴史、遺産、温泉、祭り、食産業などの魅力的な観光資源の「光」を「たん(探)」・「そう(創造)」・「せい(生かす)」で、「観光」から「感光」へを目標に、**私たちのグループ**は但馬内外へ情報を発信し、皆様との橋渡しをさせていただきます。



活動で、但馬の魅力を知っていきたい。

橋本 佳奈

但馬の魅力と未来への夢を探したい。

久保田 寛

行こう!?

川瀬 学

たじまの地  
めぐってみたい  
ゆつたりと

松岡 寛一

魅力満載のたじまを皆さんへ発信します。

関 綾乃

「すごい」感光あるあるをみんなで発掘!!

鈴木 智美

但馬の活性化の一助になれば!!

西田 米男

### Group members

- |       |       |
|-------|-------|
| リーダー  | 西田 米男 |
| 副リーダー | 久保田 寛 |
| 広報担当  | 関 綾乃  |
| 広報副担当 | 本井 裕司 |
|       | 鈴木 智美 |
|       | 橋本 佳奈 |
|       | 松岡 寛一 |
|       | 川瀬 学  |
|       | 山中 真澄 |
|       | 脇本 充  |
|       | 渡邊万佐己 |
|       | 岡村 直昭 |

# 「今を生きる」～プロジェクトfamily～

## 【活動目的】

私たちの活動は、但馬のパパママの子育て環境において、「今が楽しい」と感じられる心の余裕を持ってもらえるような様々な取り組みで、パパママ応援を目的として活動しています。

## 【グループ紹介】

但馬地区で子育て応援の場を提供し、様々なイベントを行います。また、子育てについてのパパママ情報共有の場としてもご利用いただいております。さらには私たちの活動を通しお母さんの仕事復帰のきっかけづくりもお手伝いできるよう、家族の絆を深めパパママ協力体制の子育てを応援しています。現在の子育て応援隊メンバーはママが2名、パパが5名、ばあーばが1名の計8名でアイデアを出し合い協力し但馬県民局のバックアップのもと活動をしています。



田中 啓介  
楽しい継続は力なり



西賀 晴奈  
今の瞬間を子どもたちと生きる喜びを分かち合う



二位 聡  
子どもたちと楽しく、明るい未来を築きたい



原 友子  
恩を知り 恩に報いて 今ここに生きる 但馬っ子へ



鈴木 千佳  
子どもから人生の大切な事を学び直す日々です



中尾 祐二  
今を楽しく朝を迎え 子どもと共に感謝し眠る



木築 基弘  
子どもに夢を与えられる 大人を目指したい!

### Group members

- |       |       |
|-------|-------|
| リーダー  | 田中 啓介 |
| 副リーダー | 二位 聡  |
| 広報担当  | 西賀 晴奈 |
|       | 伊木 翔  |
|       | 鈴木 千佳 |
|       | 原 友子  |
|       | 木築 基弘 |
|       | 中尾 祐二 |

# 但馬いかそう会

## 【概要】

「但馬の過疎をいかに 但馬の自然をいかに 但馬の人をいかに」を合言葉にエネルギーの地産地消を目指し、但馬における水力発電の可能性を第8期に続いて活動を行っています。



## 【活動内容】

スタート時は自転車のハブダイナモを活用した一般水路用発電システムを自作しました。現在は「現代の水車復活プロジェクト」(豊岡市江野)で昔の水車小屋を新しい水力発電の水車で復活するプロジェクトに取り組んでいます。自作の発電機でMAX27Wくらいの発電に成功。バッテリーに蓄電し電力の活用を計画中です!

今年は水車の形式を変えたり、一般農業水路の活用を考えています。

新たな水源(地元の人)での共同作業を進めたい。(日下部)

水力発電、但馬の食材等のイベントに立ち会えて非常に良かった(川瀬)



待望の水路が見つかり、新しい水車で新規挑戦です。(嶋崎)

水をエネルギーに変えるという大きな夢が実現するよう願っています。(畑野)



今年の水車が成功するように?(渡邊)

## Group members

- リーダー 嶋崎 輝光
- 副リーダー 畑野 実
- 広報担当 日下部建夫
- 渡邊 幸雄
- 川瀬 学
- 谷口 一正
- 本井 裕司

# Girls,Boys and...

私たちグループは、但馬で育つ子供たちが、地域や社会にも関心をもち、多様な価値観に触れる事で、豊かな心、生きる力を育てほしいという想いで活動しています。「Girls,Boys and...」というグループ名にも、子どもたちと新たな価値観を繋ぐグループでいたいという思いが詰まっています。夏には未来のイメージや自身が実現したい事を意識するきっかけとして、「第1回夏のキャリアスクール」を実施しました。このイベントは好評で、第2回も春に開催予定です。他にも、飛んでるローカル豊岡へ、若者に向けたメッセージを投稿したり、地域の達人を集めたイベントも企画しています。今後も、私たちの活動が少しでも但馬の子供たちの未来を上げる活動になる様に頑張りたいです。



桑原 里奈 楽しいだけでなく勉強になる事が多いです。

小田垣 夏子 自ら行動することの大切さを学んでいます。



木築 基弘 未来を創る世代が夢を持てる地域にしたいです。

橋本 祐未 粒揃いで素敵なメンバーとの活動が楽しい!



谷岡 慎一 いろんなつながりで但馬を盛り上げたいです。



山崎 憲一 魅力あふれる方々との出会いが楽しいです。

## Group members

- リーダー 山崎 憲一
- 副リーダー 小田垣夏子
- 広報担当 桑原 里奈
- 伊藤 有香
- 河田 愛
- 木築 基弘
- 谷岡 慎一
- 中家 宜嗣
- 中村 一弘
- 橋本 祐未
- 民部 好子
- 安井 義弘
- 岡村 直昭
- 脇本 充

# 楽しい田舎キャンパス

自然を生かした里山の再生と休耕荒地の再活用を探索し、人々の交流・居場所創りを求め、理想的な田舎暮らしを夢見て活動中。

- 2018年は、出石町中村エリアを拠点に、
- ①休耕荒地復活の「収穫祭」、
- ②里山整備「講演会」(熊谷哲講師)を開催。

2019年は、子どもはもちろん大人もワクワクの里山復活と2年目の休耕地再活用も連携して活動していきます。合言葉は「楽しい田舎キャンパス」。

陰 良夫 リーダー 里山・農地の再生で人々の交流、楽しい地域に

川瀬 学 作るう、食べよう、あそぼう

堀之内 智裕 活動を通じて他地域の方と繋がりができればと思います

中西 教夫 副リーダー 放置された里山の再生と住民のふれあいを考える

谷口 定男 広報担当 里山整備でツリーハウスが夢



# 自然の保護と農村を活性する会

私たちは、自分たちの住んでいる地域が、豊かで美しい自然に囲まれた地域であり、また皆が生き生きと暮らしている、住みよい地域であることを目標として活動するグループです。

但馬の良いところは、田舎特有の美しい自然、人々が人情深く、海・山・川の但馬らしい風景、沢山の特産物が生産されている地域であるところだと思います。

私たちは、2年間の活動の中で、但馬の中で守り育てられてきた特産物を掘り起し、その特産物の振興が図られれば、地域の活力につながるのではないかと考えています。

本年は、隠れた特産物に目を向けて、地域の協力の下で、但馬を訪れる人たちをもてなす料理を提供したいと考え、メニューの開発に取り組んでいます。但馬を代表する特産物としては但馬牛、漁業(海の魚)、コウノトリ米、高原野菜ですが、山、川の特産物が陽の目を見ていません。そんな中で本年は、山・川に着目して、活動を進めています。

どうか私たちの活動が目や耳に入ったときには、ご協力いただきますようお願いいたします。

## Group members

- リーダー 天良 達也
- 副リーダー 北垣 和也
- 広報担当 岡本 優嗣
- 金丸 真次郎
- 谷口 一正
- 畑中 照久



天良 達也 但馬が住みよい街であります様に願っています。



畑中 照久 但馬の自然と「農」「水」をさあ!今こそ世界へ



北垣 和也 大学院生です。時々顔を出してます(笑)



# たじま夢ちゃんねる



古来から但馬に住む先人は知っていました。自然と共に生きる素晴らしさを。豊かさを求めてたどり着いた地だったのかもしれませんが。海と大地と山に囲まれた、植物、動物、人間にとつての楽園。数千年も前から世界とも交易をしていました。

約2,000年前、大和の礎となる但馬を含む大丹波王国が存在していました。古墳が日本一多く、鉄の文化の伝承、豊かな資源、まだまだ実際には知られていないことが、但馬には眠っています。但馬地域の潜在する能力と可能性について、測り知れないものを感じています。

たじま夢ちゃんねるでは、但馬のポテンシャルに注目しヒト・ココロ・モノのストーリーを情報発信していきたいと思っています。古代日本の先進地であった但馬に目を向けて頂けたらとても嬉しいです。どうか、皆様に但馬での出会い・感動がありますように。たじま夢ちゃんねるFacebookページ、グループに参加してください

[www.facebook.com/groups/479470235793988/](http://www.facebook.com/groups/479470235793988/)

**Group members**

リーダー	西賀 真紀	小田根厚芳	西田 米男
副リーダー	福井 友恵	中尾 祐二	畑野 実
広報担当	塚本 正彦	米澤 亮一	原 友子
	大橋 秀明	西賀 晴奈	脇本 充



## 委員長・副委員長あいさつ



したい事が、できる事になるのが委員会。同じ想いを持つ委員が集う各グループ。年齢や地域、立場が異なる多様な集まりでも、目指すところが同じであれば、むしろそれは頼りになるパートナーとなり強いチームになれる事を学んできました。SNSを通じたコミュニティが中心となる社会において、リアルに活動を共にし、繋がる価値を、これからも大切にしたいです。

今期は55人のファシリテーターとして、皆さまおひとりおひとりの気持ちを尊重、実現を下支え、個性を覚醒できるよう、またそれらの活動が地域社会における、「未来の幸せ」につながる様な運営を目指してゆきたいです。

委員長 **木築 基弘**

「やってみない?」と誘われて参加してみた但馬夢テーブル委員会は、普通に生活していたら出会えない様々な年代や職業の方との貴重な出会いの場となりました。縁あって副委員長を務めさせていただいていますが、委員の方々の多彩な考えに触れたり、実際の活動への参加を通して、より多くの体験ができ、充実感とともにとてもありがたいと思います。未熟ながら今後も副委員長として委員会の力になりたいと感じていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

何か面白いことをやってみたいな、と少しでも思っている方へ。チャレンジの機会と仲間を得られる場だと思うので、ぜひ但馬夢テーブル委員会へ参加してみてください。新たな出会いを楽しみにしています。

副委員長 **橋本 祐未**

第9期も折り返し地点になりました。昨年発足した各グループも各々に活動を進めており、その内容にはこの9期メンバーの色が表れていると感じます。それぞれの得意分野や取り組みたいことがあり、その感性の近いメンバーが集い事業や活動という形になって表れています。それを見てあらためて、この但馬夢テーブル委員会という組織の可能性を実感し、より多くの方々に知っていただきたいと再認識することができました。担当する広報部会としては、その認知度向上の役割を果たせるよう、この後半の活動に対して気持ちを新たに邁進いたします。そしてこれを読んでいただいている方を始め、この但馬地域で活動の場を探している方に対して、この委員会の活動と魅力が伝わることを願います。

副委員長 **岡村 直昭**

## 専門委員からのメッセージ



兵庫県立大学  
名誉教授  
**井内 善臣**

第9期委員の皆様、1年の活動を終えて、いかがでしょうか。委員会に初期から関わってきました井内です。今回新たに就任された委員の方々は、委員活動に順応されてきた時期かと思えます。但馬地域ビジョンでは、4つの将来像「自立の郷」、「賑わいの郷」、「癒しの郷」、「慈しみの郷」を掲げ、県民局や諸団体等「産官学公民」が一体となり、4つの行動目標「人づくり」、「産業づくり」、「誇りづくり」、「安心づくり」のもと、地域の担い手である世代を超えた老若男女の皆様は行動力と情熱で但馬をつくりあげてこられました。きっと但馬の未来につながるご活躍を祈願しております。



関西大学社会学部  
社会システムデザイン専攻  
教授  
**草郷 孝好**

第9期但馬夢テーブル委員の活動は、8グループで、そのうち7グループは、新規の活動で、頼もしく新境地を開いています。グループ名を見ると「Girls, Boys, 田舎キャンパス、プロジェクトfamily、夢感光、夢ちゃんねる、コネクト」と、但馬の暮らしを生き生きと楽しめるものにし、盛り上げていくのだという意欲を感じます。特筆したいのは、多くの但馬夢テーブル委員が2つ以上のグループを自主的に掛け持ち参加していること。各委員が持つ但馬への愛着、但馬の明日を創っていく意欲と情熱の現れで、2年間の任期の中で、9期の8グループの活動がどこまで展開していくのか、本当に楽しみです。



兵庫県立大学大学院地域資源  
マネジメント研究科  
講師  
**菊池 義浩**

今期から但馬夢テーブル委員会の専門委員を務めさせていただき、私自身、委員会の取り組みを学びながらの1年間でした。委員の皆さんによる会議での活発なディスカッションから、住民主体で持続的な地域づくりを進めていく熱意を感じています。また、地域でのグループ実践活動にも参加させていただき、そこでみられた但馬の地域資源を改めて読み解きながら、次世代に継承していくこととする取り組みは、人口減少・少子高齢化が大きな問題になっている現代において非常に大切なことだと思います。但馬県民局の皆さんをはじめ、地域に関わる多様な人達との連携を深めながら、望ましい但馬の姿の実現を目指して、さらなる活動の展開を期待しています。

## 但馬コネクトコネクト(TCC)

9月に開催  
「TEDパブリックビューイング豊岡」

会社員・子育て世代・経営者など様々な立場のメンバー。仕事や家庭のベースとバランスをとりながら活動中です!



「つながる」「つなげる」をコンセプトとするこのグループでは、但馬で暮らす大人のサードプレイス(仕事・家庭に続く第三の居場所)となる場をつくる事を目標に、イベントの企画や、但馬内の活動サポートを行います。

9月には、プレゼンセッションでつながる「TEDパブリックビューイング豊岡」を共同開催。

2月以降からは、但馬夢テーブル委員会内でつながる「聞くだけでもいい! おしゃべりCafé」を開催しています。

### Group members

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| リーダー  | 北垣 太志 | 岡村 直昭 | 西田 米男 |
| 副リーダー | 中島 知乃 | 小田垣夏子 | 松岡 寛一 |
| 広報担当  | 坂本 裕  | 木築 基弘 | 本井 裕司 |
|       | 上田真之介 | 西賀 晴奈 | 脇本 充  |



新企画に向け打合せ中...